



「20年のクマさん会を振り返る」

熊本 研一郎

クマさん会が1996年5月1日にスタートして、はや20年の年を重ねた。

この20年間で、502回の山に登っており、隔週で年平均25の山登りを20年続けたことになる。よくぞ続いたと改めて感慨深い気持ちで一杯である。これもクマさん会メンバーの皆様の協力、支えがあったればこそその長続きで、感謝に堪えない。

これまで、71名の多くの方々がクマさん会山行に参加していただき、昨年2015年の山行をみても、28名の方が参加し、直近5年間では44名の方々の参加で盛況の有様であり皆様にクマさん会を応援して頂いている。

20年間の山行を振り返ると既に4名の方が逝去されており（山内さん、大森さん、戎家さん、篠沢さん）、その方々と登った山行がつい昨日のように鮮やかに思い浮かび、ヤット山頂に到達した時の満面の笑みが蘇る。改めてご冥福をお祈りしたい。 黙禱

今まで登った山でどこが良かったかを選定するのは非常に難しい。山姿、山頂からの展望、厳しい岩壁、奇岩・怪石、高山植物、紅葉、温泉、山小屋等々、色んな観点から感動を得てきたが、夫々が思い出となり胸に深く刻まれてきた。だからまた登りたくなり新たな感動が重なる。正に「百の頂に百の喜びあり」である。

私自身は、70歳を過ぎて、年々体力、脚力の衰えは、山に登る度に感じている。従来のように、登山ガイドブックのタイムスケジュールで歩くのは厳しくなっており、最近の私が立てる山行計画のタイムスケジュールは標準プラス10%アップで組み立て、現実でこれでは何とかクリアーできる程度である。

毎年、年初の初登りは鍋割山（鍋焼きうどん）で、標高差約1000mの往復が一つのバロメータで、無事登頂下山できれば、その年も何とかなるであろうと思っており一つの指標になっている。今年も達成できたと安堵し一年の登山活動が始まる。

これからも、なるべく山に登れる年を重ねられるために、日々のトレーニング（速足10mトレーニング：片足2kgの加重）を続けたいと思っている。

最後に、

クマさん会の運営は事務局（小野寺さん、吉松さん、石井さん、高橋雄さん、熊本）で年間登山計画や各種イベントの計画・準備やホームページのメンテナンス等を全くの自主的なボランティア活動で参画して頂いており、そのおかげで20年間クマさん会が継続してこられた最大の要因である。改めて、事務局の皆様にお礼を申し上げる。有難うございました。また、これからもよろしくお願いします。